

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング ～ 宣言3週目の推移 ～

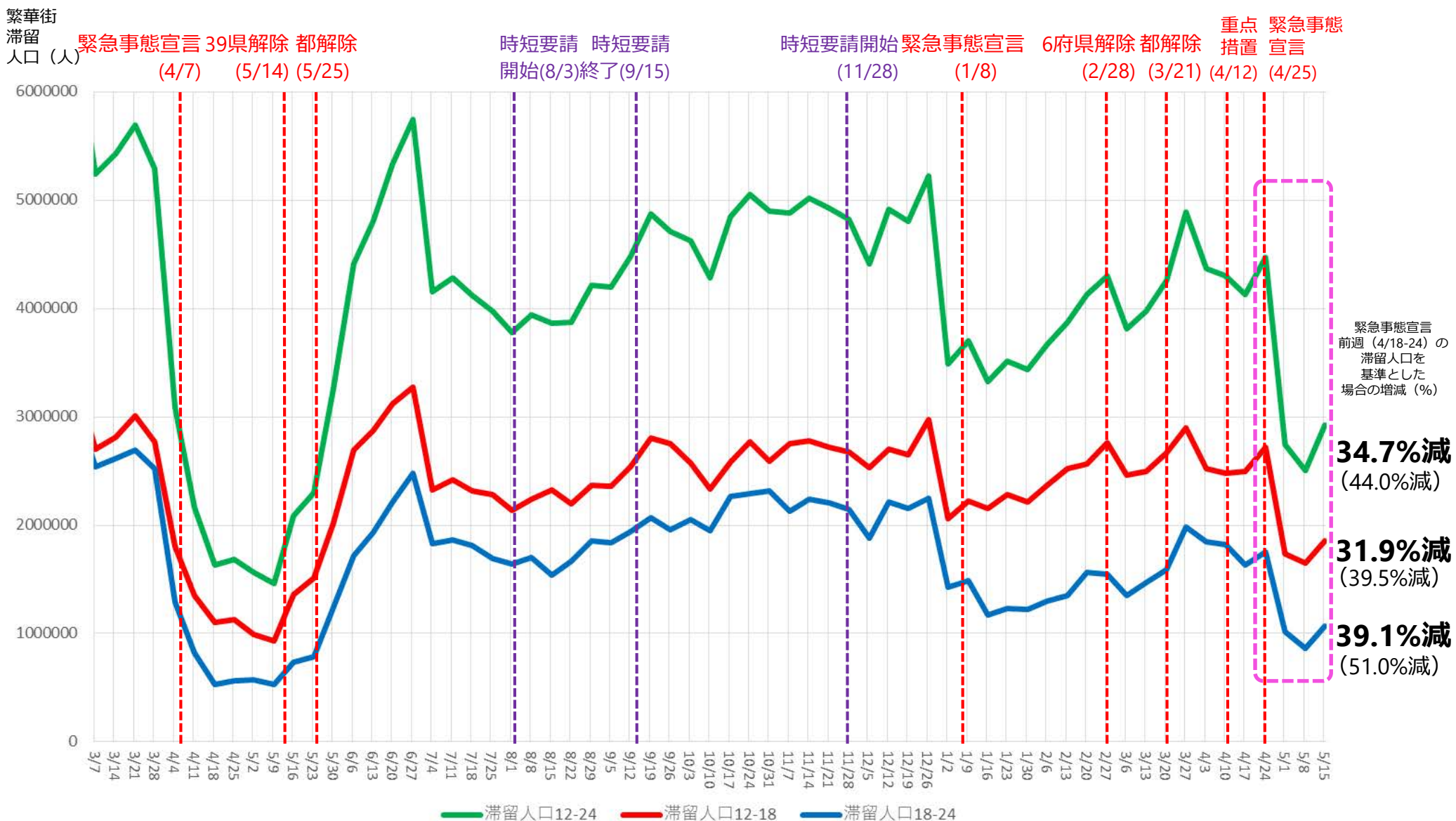
東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

<要点>

- 宣言3週目に入り、夜間滞留人口・昼間滞留人口ともに増加に転じる。前週（宣言2週目）に比べ、夜間滞留人口は11.9 %増、昼間滞留人口は7.6%増。前回（2回目）の宣言時最低値ラインに近づきつつある。
- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内の移動で生活を完結した都民の割合（ステイホーム率：7日間平均）は、5月19日時点でそれぞれ56%（前週比：1%減）、48%（前週比：1%減）。
- 都民の協力により、人流は今のところ低い水準に抑えられている。一方、変異株等の影響によって、人流抑制が感染者数減少に結びつくまでに、従来よりも時間がかかっており、また、どの程度感染者数が減少するかも不透明な状況。ここで人流が大きく戻りはじめると、再び感染拡大とむかう可能性があるため、引き続き、人流増加を徹底して抑制していくことが重要。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2021年5月15日）

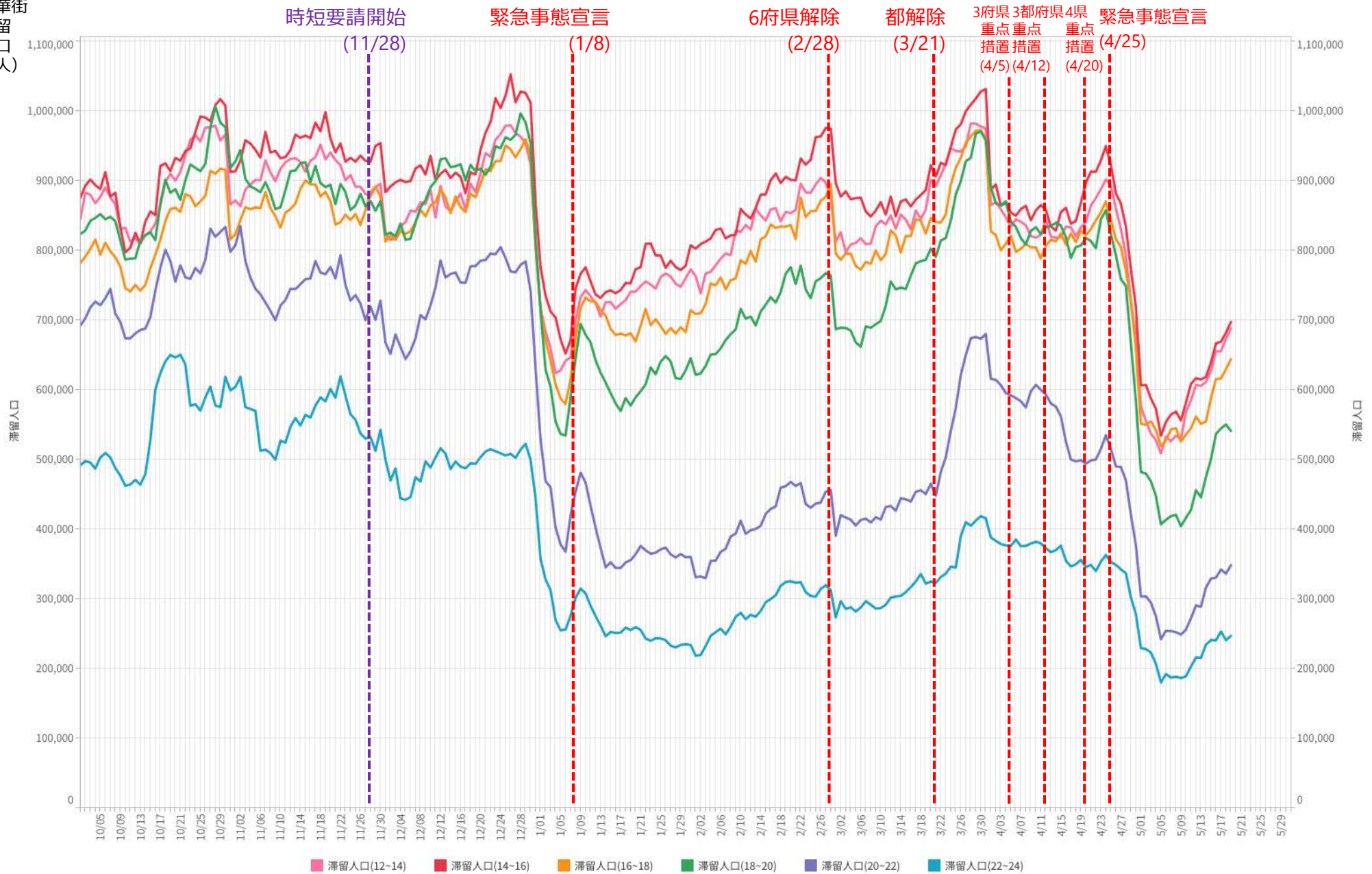


先週（21.5.9-5.15）の繁華街滞留人口と 1回目・2回目の緊急事態宣言中最低値との比較

		1回目の緊急事態宣言	2回目の緊急事態宣言
東京	最低時点 (週単位)	20.5.3-9	21.1.10-16
	昼：12-18時	1.99倍	0.86倍
	夜：18-24時	2.01倍	0.92倍
大阪	最低時点 (週単位)	20.5.3-9	21.1.17-23
	昼：12-18時	1.61倍	0.71倍
	夜：18-24時	1.41倍	0.72倍

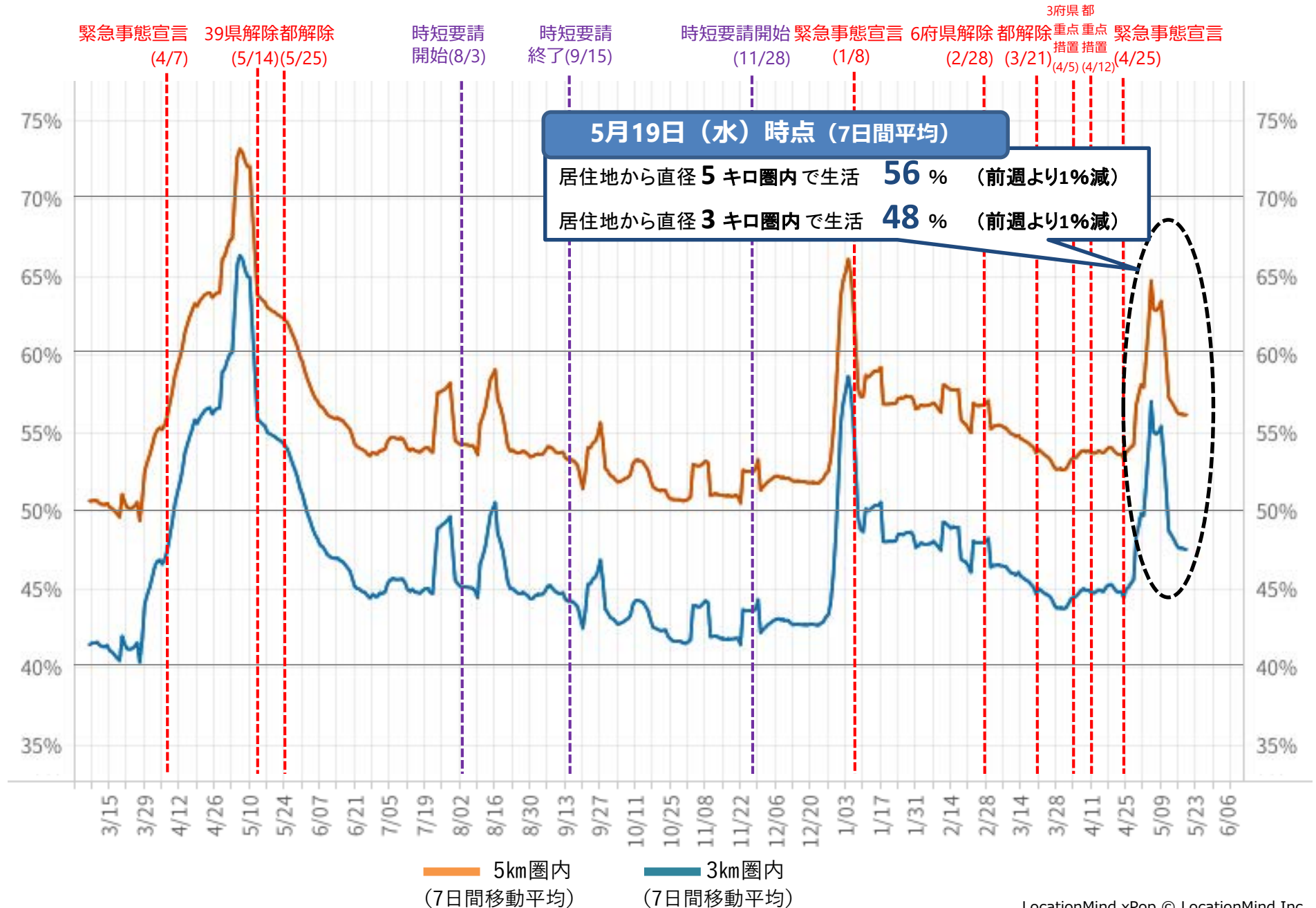
時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年5月19日）

繁華街
滞留
人口
(人)

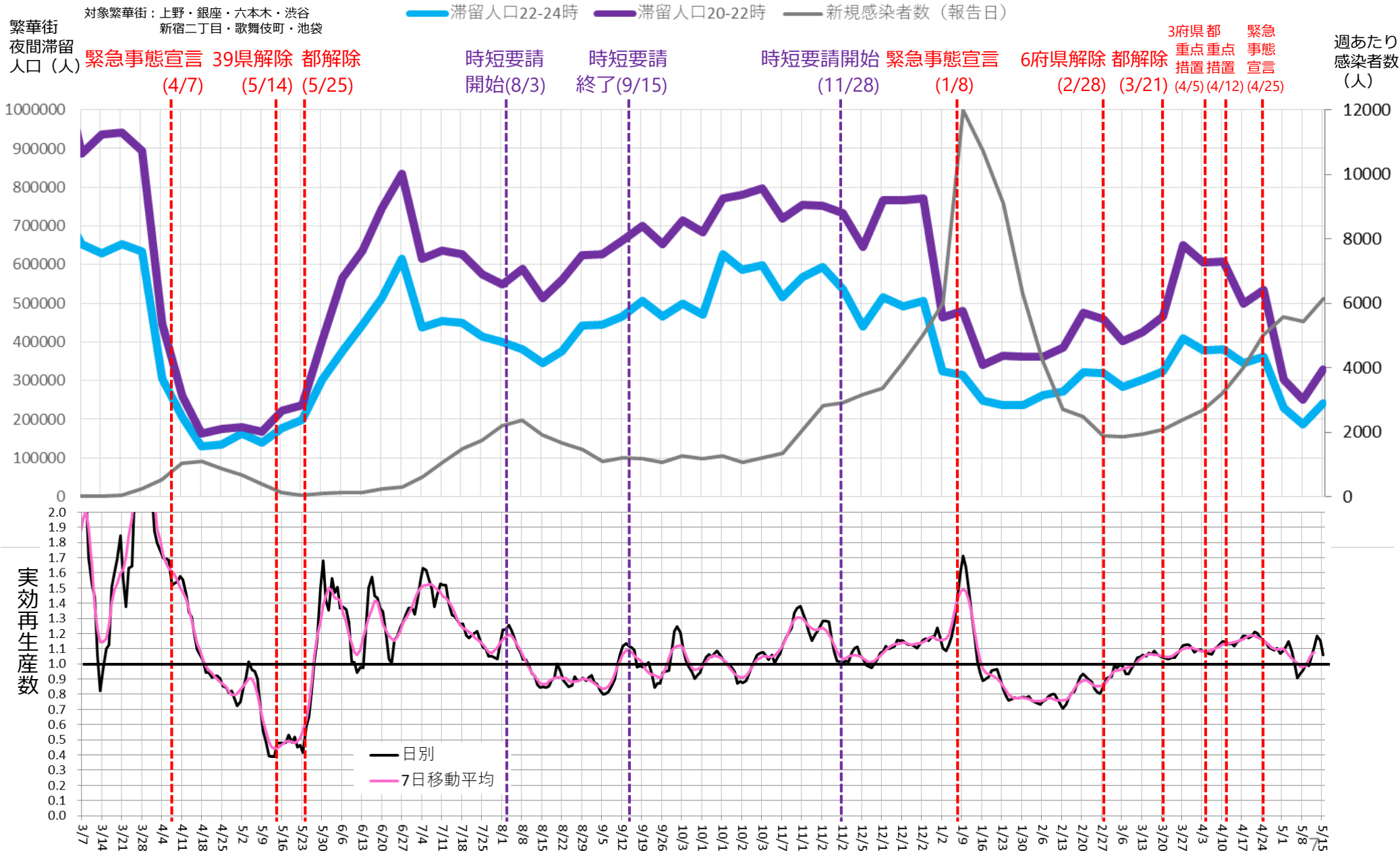


ステイホーム指標（2020年3月1日～2021年5月19日）：東京都内全域

居住地圏内滞在率



主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日～2021年5月15日)



夜間滞留人口減少から新規感染者数減少までのタイムラグ:大阪

対象繁華街：キタ・ミナミ・京橋・新世界
天王寺・阿部野・十三

繁華街
夜間滞留
人口（人）

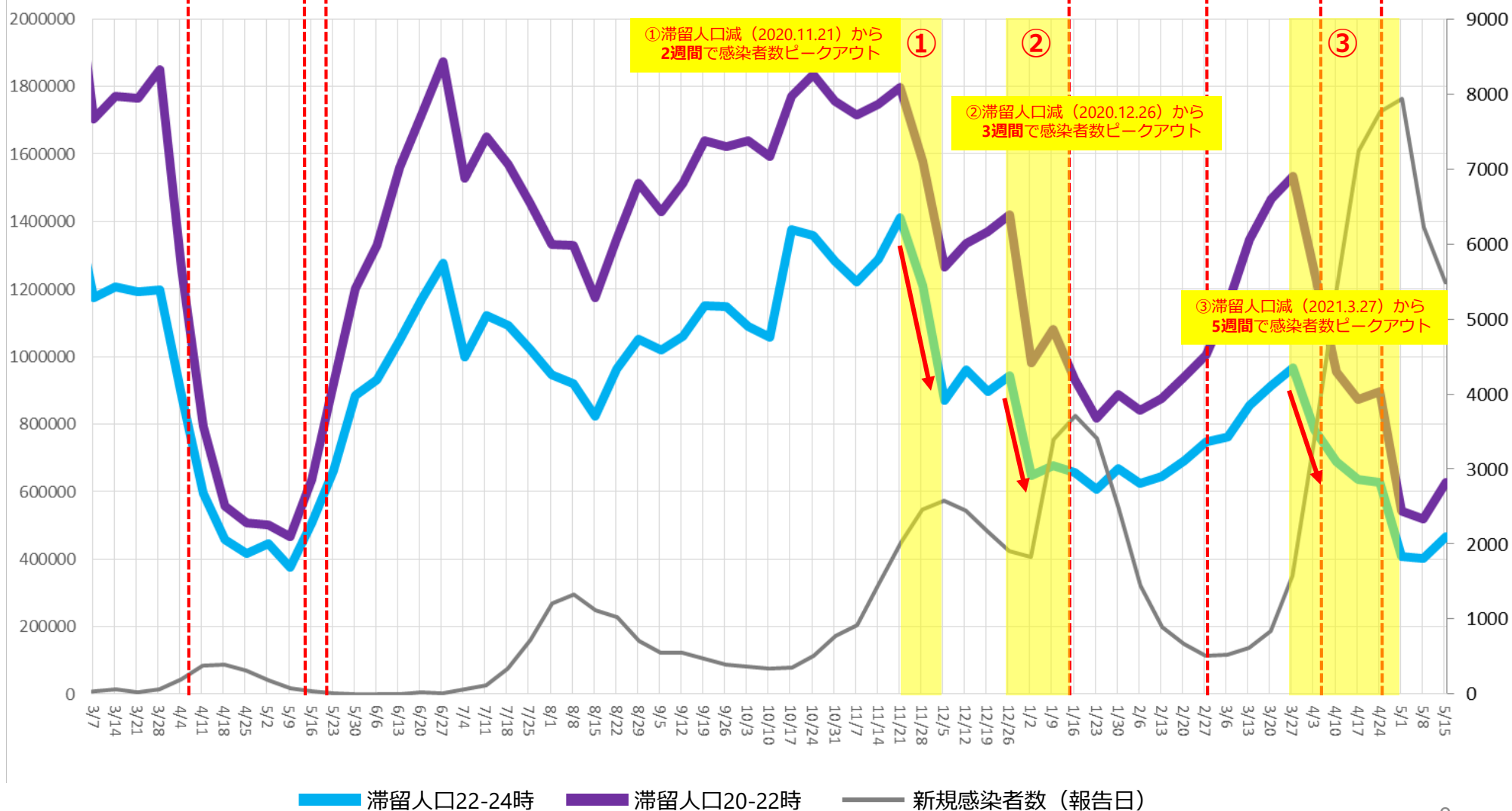
緊急事態宣言 (4/7)
39県解除 (5/14)
府解除 (5/21)

緊急事態宣言 (1/14)

6府県解除 (2/28)

3府県
重点措置 (4/5)
緊急
事態
宣言 (4/25)

週あたり
感染者数
（人）



夜間滞留人口減少から新規感染者数減少までのタイムラグ:東京

繁華街
夜間滞留
人口(人)

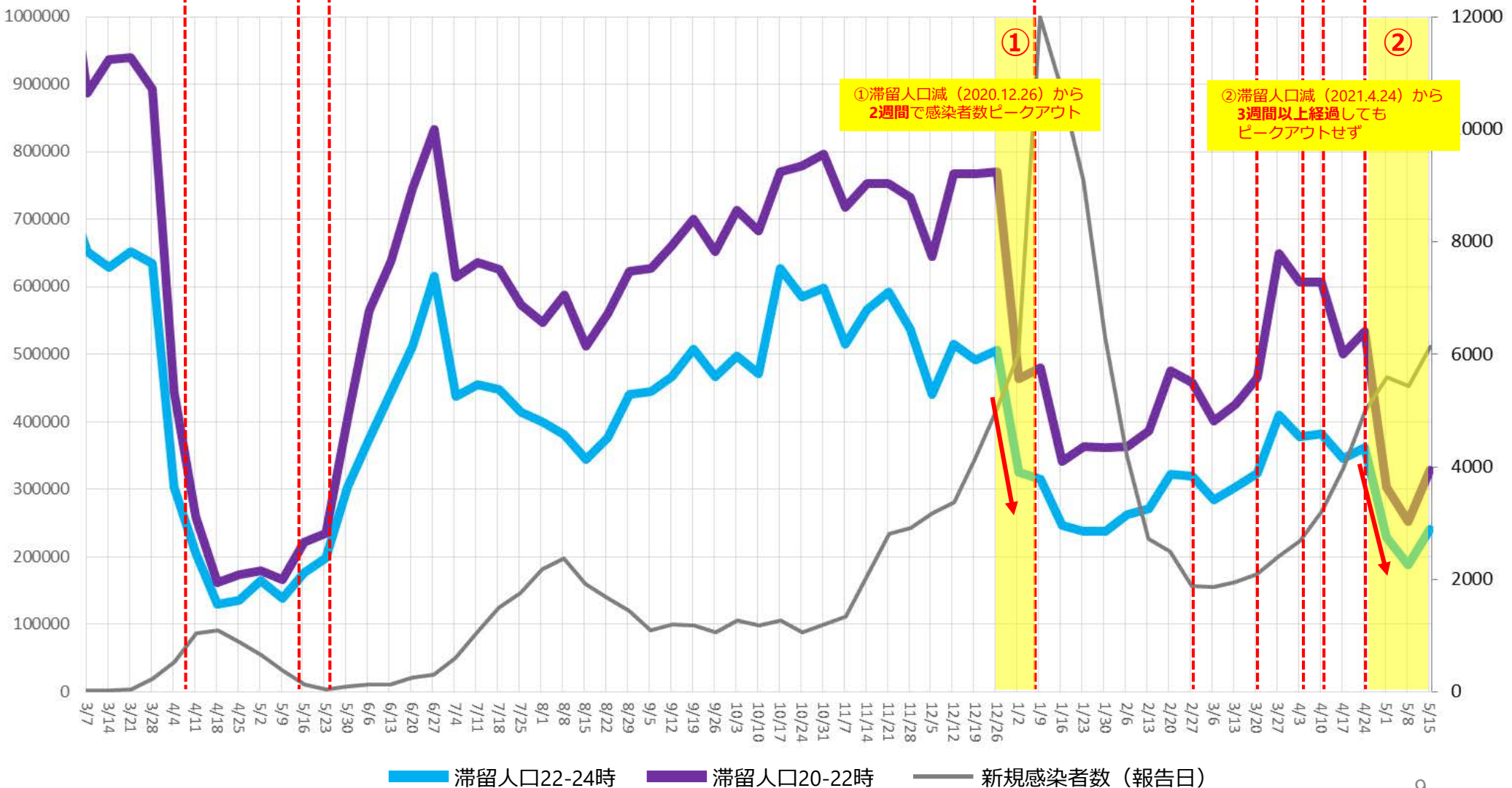
人口 (人)

緊急事態宣言

府県解除 都解除

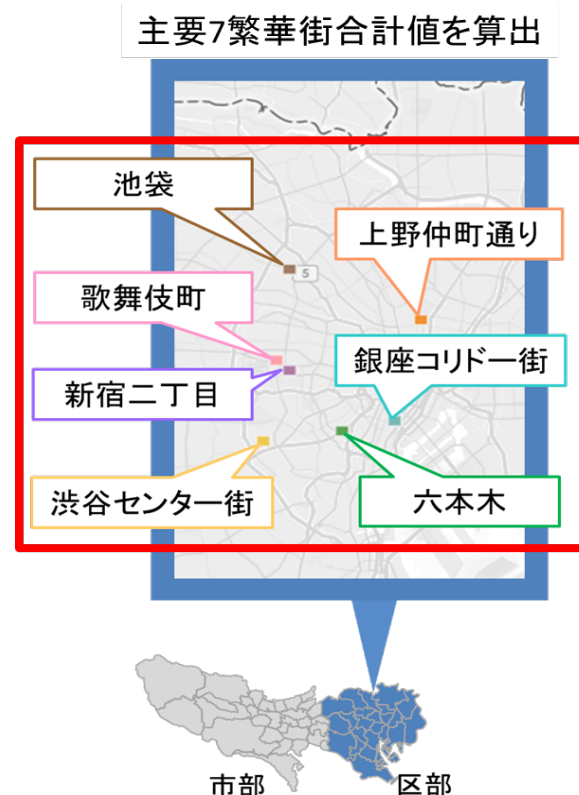
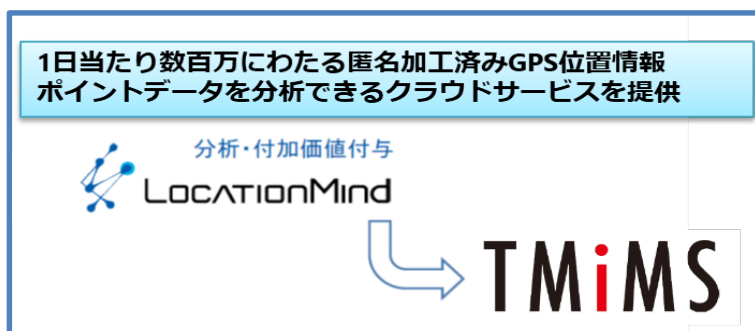
3府県都 緊急
重点重点 事態
措置措置 宣言

週あたり



ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定**※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント